

記事

[Toshihiko Minamoto](#) · 2022年7月19日 2m read

InterSystems レポート: トラブルシューティングとして、サポートでユーザーのレポートを実行できるようにする方法

インターシステムズのサポートではレポートのトラブルシューティングを手助けしており、彼らはローカルシステムにて問題を再現したいのですが、JDBC データソース接続が失敗するため、レポートを実行できず、残念な結果となります。何かよい方法はあるでしょうか？

ソースデータベースにアクセスせずにオフラインでレポートを実行する方法があります。これには、**クエリ結果のキャッシュ**を Designer からエクスポートして提供する必要があります。これはレポートのソースデータを含むファイルです。サポートはこれを使用して、レポートのデータソースをオーバーライドします。レポートを実行すると、JDBC 接続からではなく、提供されたそのファイルからデータが取得されます。

説明

これはIRIS BI クエリキャッシュとは関係ありません。

IRIS BI クエリキャッシュ

BI クエリエンジンがパフォーマンスを改善するために使用するグローバル。

InterSystems レポートがキャッシュしたクエリ結果

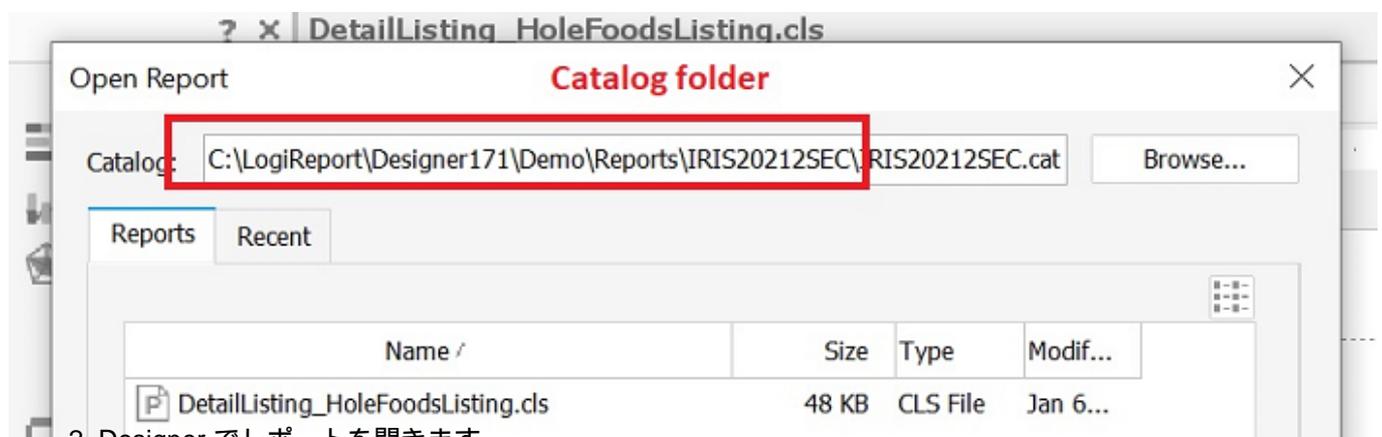
ソースデータベースにアクセスせずにオフラインでレポートを実行できるようにするファイル。

レポートは通常の JDBC

接続の代わりにそのファイルからデータを取得します。

クエリ結果のキャッシュを含むレポートを送信するには

1. カタログフォルダ全体を Zip 圧縮して送信します。
どのレポートをテストしているかを記述してください。



2. Designer でレポートを開きます。
左側のデータパネルでデータセットを右クリックし、**クエリ結果のキャッシュを作成**を選択します。レポートに複数のデータセットが存在する場合は、データセットごとに作成します。エクスポートされたファイルを送信してください。

注意事項

機密データが含まれるクエリ結果のキャッシュを送信しないでください。

ドキュメント

[Logi Cached Query ドキュメント \(v18\)](#)

[#InterSystems Reports #InterSystems IRIS](#)

ソースURL:

<https://jp.community.intersystems.com/post/intersystems-%E3%83%AC%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88-%E3%83%88%E3%83%A9%E3%83%96%E3%83%AB%E3%82%B7%E3%83%A5%E3%83%BC%E3%83%86%E3%82%A3%E3%83%B3%E3%82%B0%E3%81%A8%E3%81%97%E3%81%A6%E3%80%81%E3%82%B5%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88%E3%81%A7%E3%83%A6%E3%83%BC%E3%82%B6%E3%83%BC%E3%81%AE%E3%83%AC%E3%83%9D%E3%83%BC%E3%83%88%E3%82%92%E5%AE%9F%E8%A1%8C%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%82%8B%E3%82%88%E3%81%86%E3%81%AB%E3%81%99%E3%82%8B%E6%96%B9%E6%B3%95>